

電子黒板機能内蔵プロジェクター EB-590WT操作ガイド



～ もくじ ～

§ 1. 電源・電子ペンについて	・・・P.3
§ 2. プロジェクター制御ツールバー	・・・P.5
§ 3. 2種類の電子黒板について	・・・P.6
§ 4. パソコンレス インタラクティブでの利用	・・・P.8
§ 5 電子黒板ソフトウェア「PenPlus」について	・・・P.9
5-1 「PenPlus」の起動	・・・P.10
5-2 「透明シート」と「ホワイトボード」について	・・・P.11
5-3 「マウスモード」と「チョークモード」について	・・・P.12
5-4 「ツールバーメニュー」について	・・・P.13
5-5 「透明シート」 ツールバー①	・・・P.14
5-6 「透明シート」 ツールバー②	・・・P.15
5-7 「ホワイトボード」 ツールバー①	・・・P.16
5-8 「ホワイトボード」 ツールバー②	・・・P.17
5-9 「プレゼンテーションシート」ツールバー	・・・P.18
5-10 ツールバーへの機能追加 例えば「図形ペン」を追加する方法	・・・P.19
5-11 「PenPlus」専用マニュアルについて	・・・P.21
補足 1 ピント合わせ	・・・P.23
補足 2 本体調整	
(映像調整：台形補正・画面サイズ調整・位置調整)	・・・P.24
補足 3 本体調整 (映像調整：湾曲補正)	・・・P.25
補足 4 自動ペン位置合わせ	・・・P.26
補足 5 黒板モードでの利用方法	・・・P.27
補足 6 エアフィルターの清掃	・・・P.28
補足 7 電子黒板ソフトウェア	
Easy Interactive ToolsVer3.0について	・・・P.29

§ 1. 電源・電子ペン

【電源】

電源ボタンを押すと、電源が入ります。

電源を切る時は、投写画面の指示に従って電源ボタンを2回押してください。

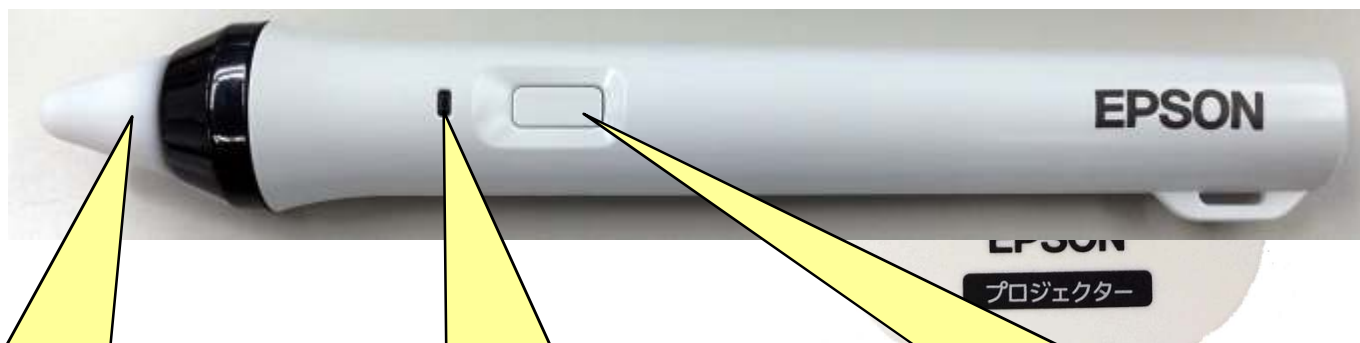


リモコン

【電子ペン】

☆ 電子黒板上で「チョーク」あるいは「マウス」の役割をするのが、専用の「電子ペン」です。

電子ペンは2種類あり、ペン後方部の色が異なります。
ペン後方部が同じ色のペンは同時に使えません。



ペン先ボタン
押すと電源がオンになります。
投写画面に近づけたり押し当てたりして使います。

バッテリーインジケータ
ボタンを押した時に電池残量をお知らせします。
緑点滅：電池残量少
無点灯：電池残量無

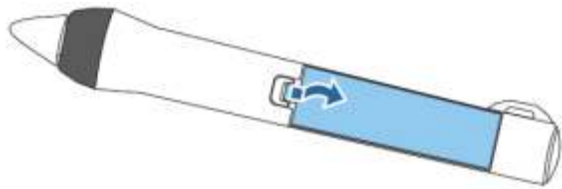
ボタン
・電源を入れます
・描画時に押すたびに、ペンの機能をペンから消しゴムへ交互に切り替えます。
・マウス操作時に押すと右クリックができます。

ペンを20分間使わないと、電源が自動でオフになります。
電源を入れて使用できるまで約1秒かかります。

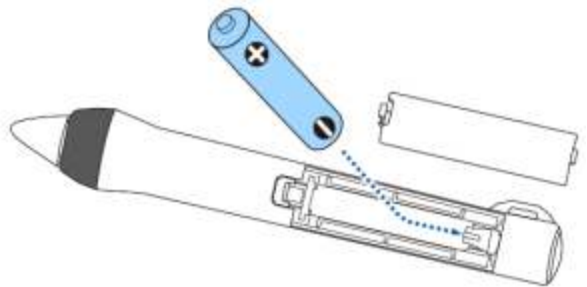
§ 1. 電源・電子ペン

【電池のセット・交換方法】

1. 電池カバーを外します。
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



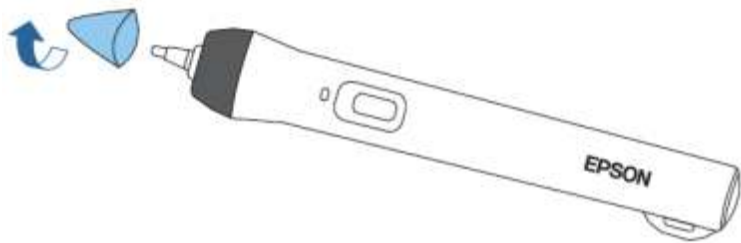
2. 新しい電池を入れ、カバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



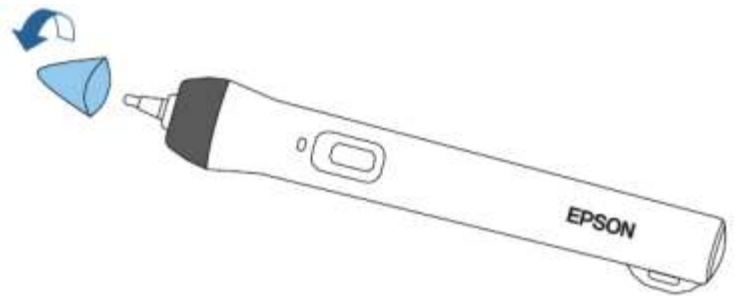
【ペン先交換方法】

ペン先は消耗品として販売しておりますので、ご購入の上、交換をお願いします。

1. ペン先を回して外します。





2. 新しいペン先を回して取り付けます。



§ 2. プロジェクター制御ツールバー

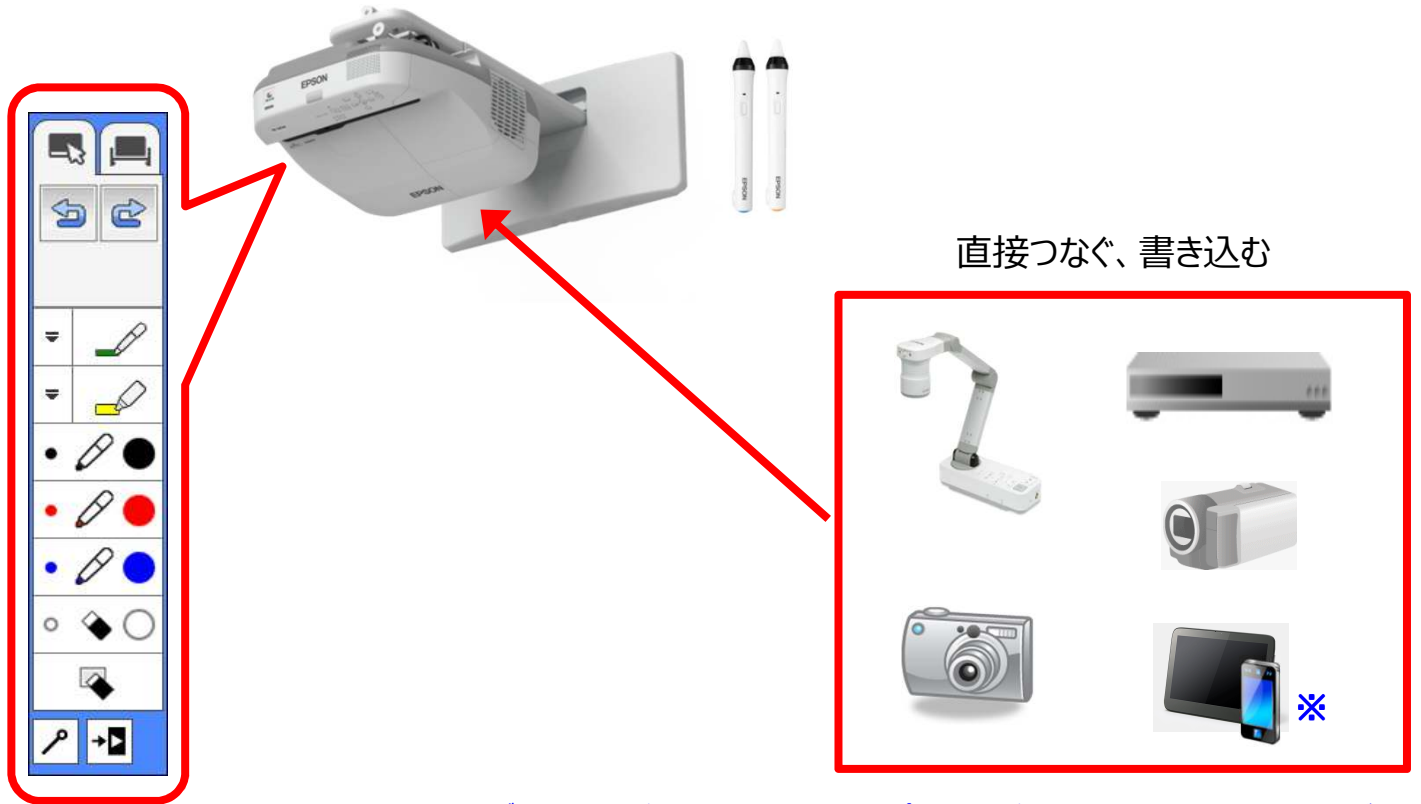
プロジェクター制御ツールバーを使うと、リモコンと同じように、投写画面からプロジェクターを操作できます。ペン操作で入力機器の切り替えや音量調節、AVミュート機能を利用できるので、操作性が向上します。



	本機の電源をオフにします。
	入力ソースの一覧が表示されます。選択した入力端子からの映像に切り替えます。 入力ソース一覧を非表示にするには、下部にある  アイコンを選択します。
	表示されたボックス内の倍率または+/-ボタンを使って、映像を拡大/縮小します。次のことができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 1～4倍まで拡大できます。元のサイズに戻すには、[x1] を選択します。 • +/-ボタンを押し続けると、すばやく拡大/縮小します。 拡大/縮小リストを非表示にするには、下部にある  アイコンを選択します。
	映像と音声を一時的に遮断します。 元に戻す場合は、投写画面をクリックしてください。
	映像を一時停止します。
	音量を下げます。
	音量を上げます。
	プロジェクター制御ツールバーを非表示にします。

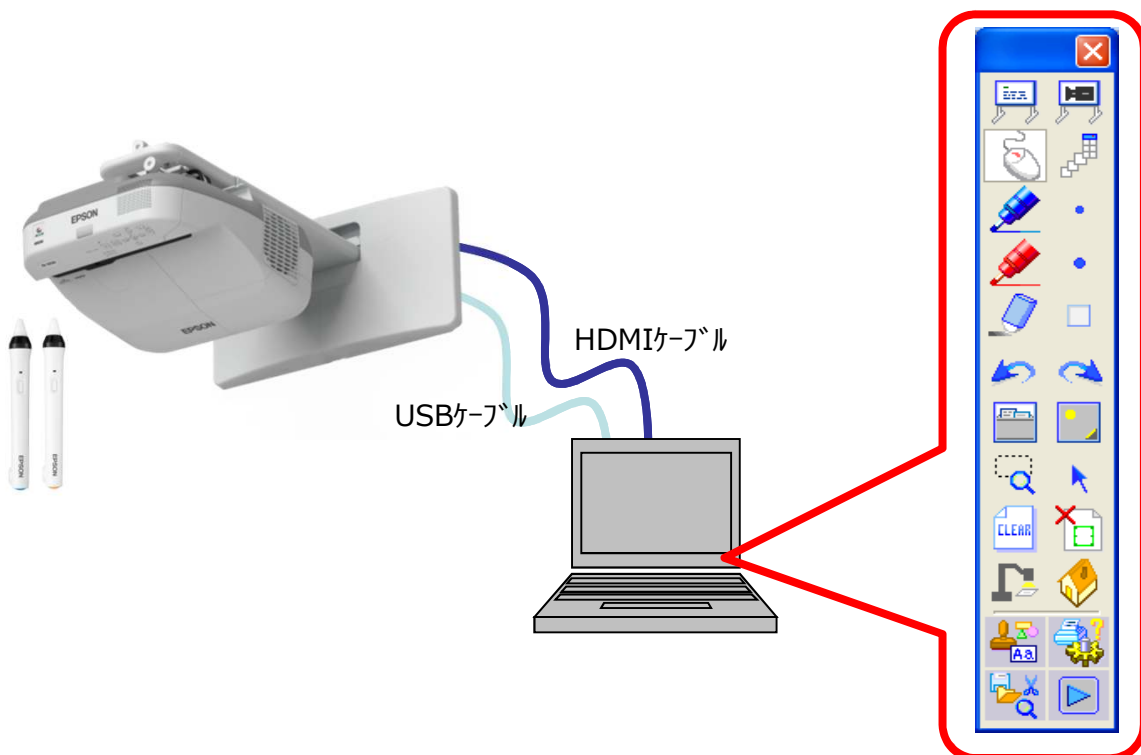
§3. 2種類の電子黒板について

【パソコンレス インタラクティブ】 プロジェクター内蔵の電子黒板機能



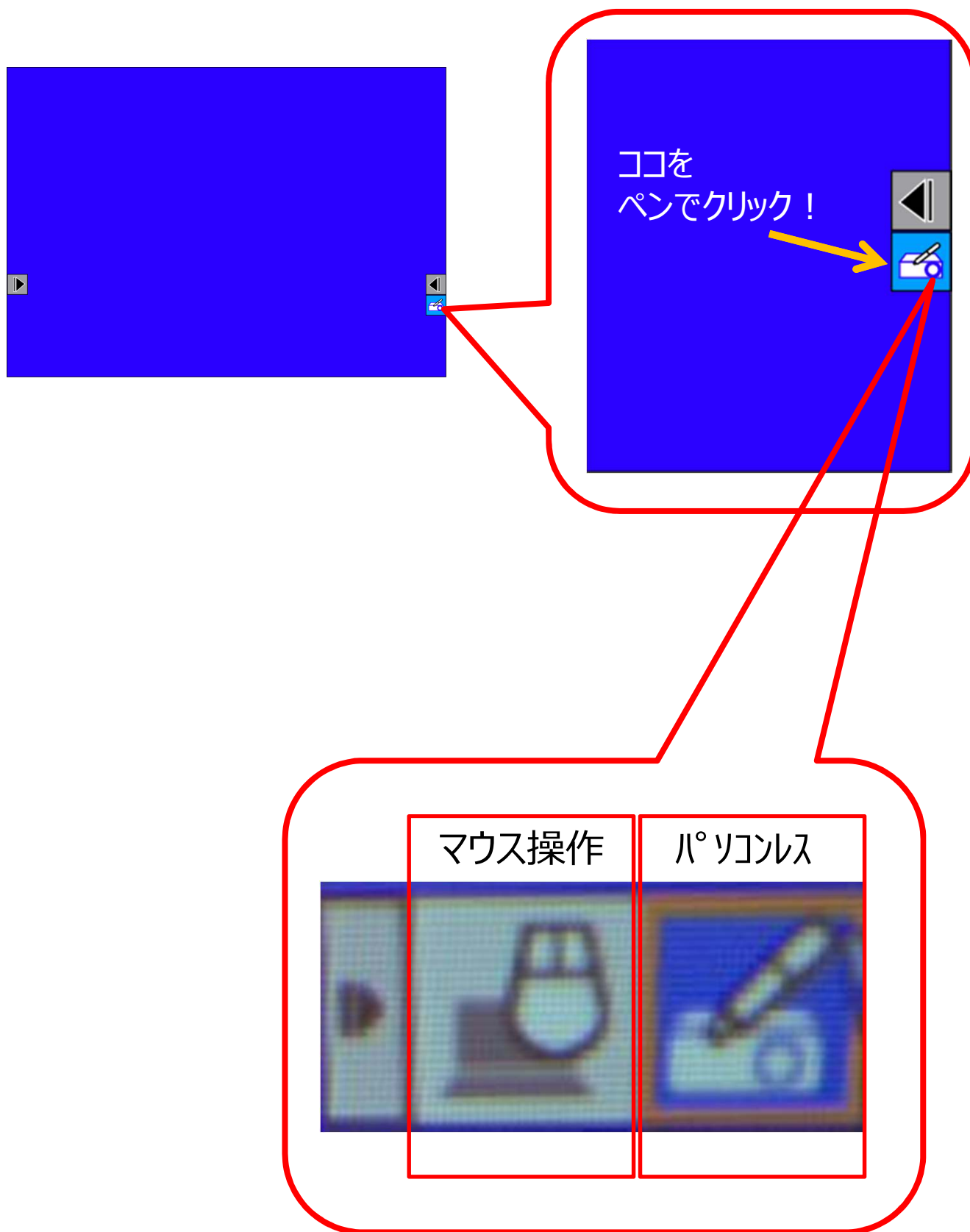
※EB-590WTとタブレットPCと無線LANで接続する場合、オプションの無線LANユニット「ELPAP07」を別途、ご購入ください。

【マウス操作（パソコン経由インタラクティブ）】 PCで使う電子黒板機能

















§3. 2種類の電子黒板について

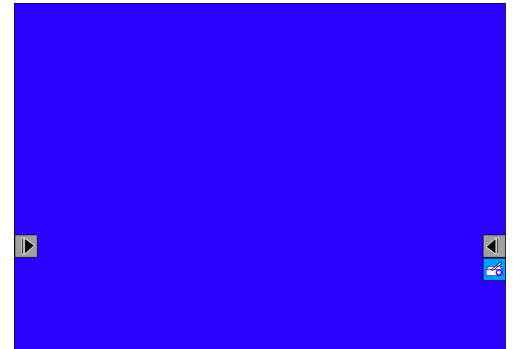
【2つの電子黒板の切り替え方法】



§4. パソコンレス インタラクティブでの利用

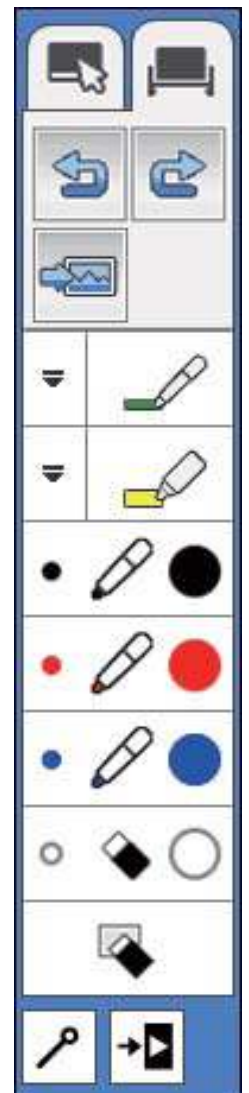
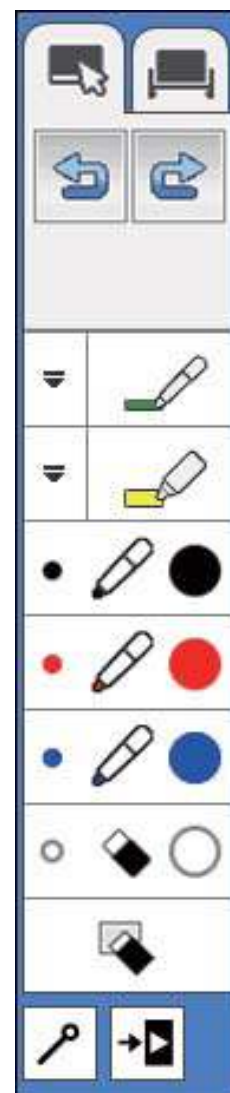
EB-590WTにはパソコンなしでご利用いただける電子黒板機能を内蔵しています。

	アノテーションモードに切り替えます。
	ホワイトボードモードに切り替えます。
	1つ前の操作を元に戻します。
	元に戻す操作をキャンセルして、元に戻す前の状態にします。
	あらかじめ用意された6種類の背景パターンからホワイトボードの背景を選択できます（ホワイトボードモードのみ）。
	フリーハンドで描けるペンに切り替わります。アイコンの左端にある▼をクリックすると、ペンの色と太さを設定できます。
	半透明の線を描ける蛍光ペンに切り替わります。アイコンの左端にある▼をクリックすると、蛍光ペンの色と太さを設定できます。
	黒色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	赤色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	青色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	消しゴムに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い消しゴム、左側をクリックすると細い消しゴムになります。
	描画した内容をすべて消去します。
	1回描画するたびにツールバーが非表示になります。
	ツールバーを非表示にします。



アノテーションモード

ホワイトボードモード

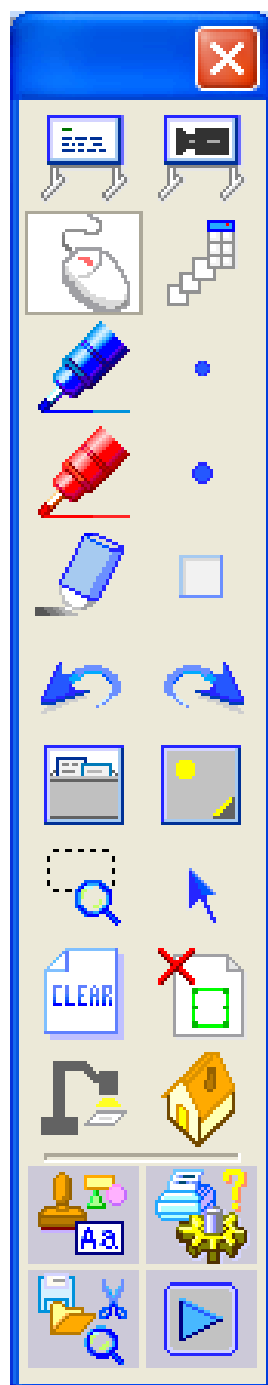


§ 5. 電子黒板ソフトウェア「PenPlus」について

- ☆ : 電子黒板用ソフトウェア「PenPlus for EPSON 電子黒板」について説明をします。

PenPlusはWindows OS専用のソフトウェアとなっております。Mac OS上では使用できませんのでご注意ください。

Mac OSでは、もう一つの電子黒板用ソフトウェア「Easy Interactive Tools」をお使いください。

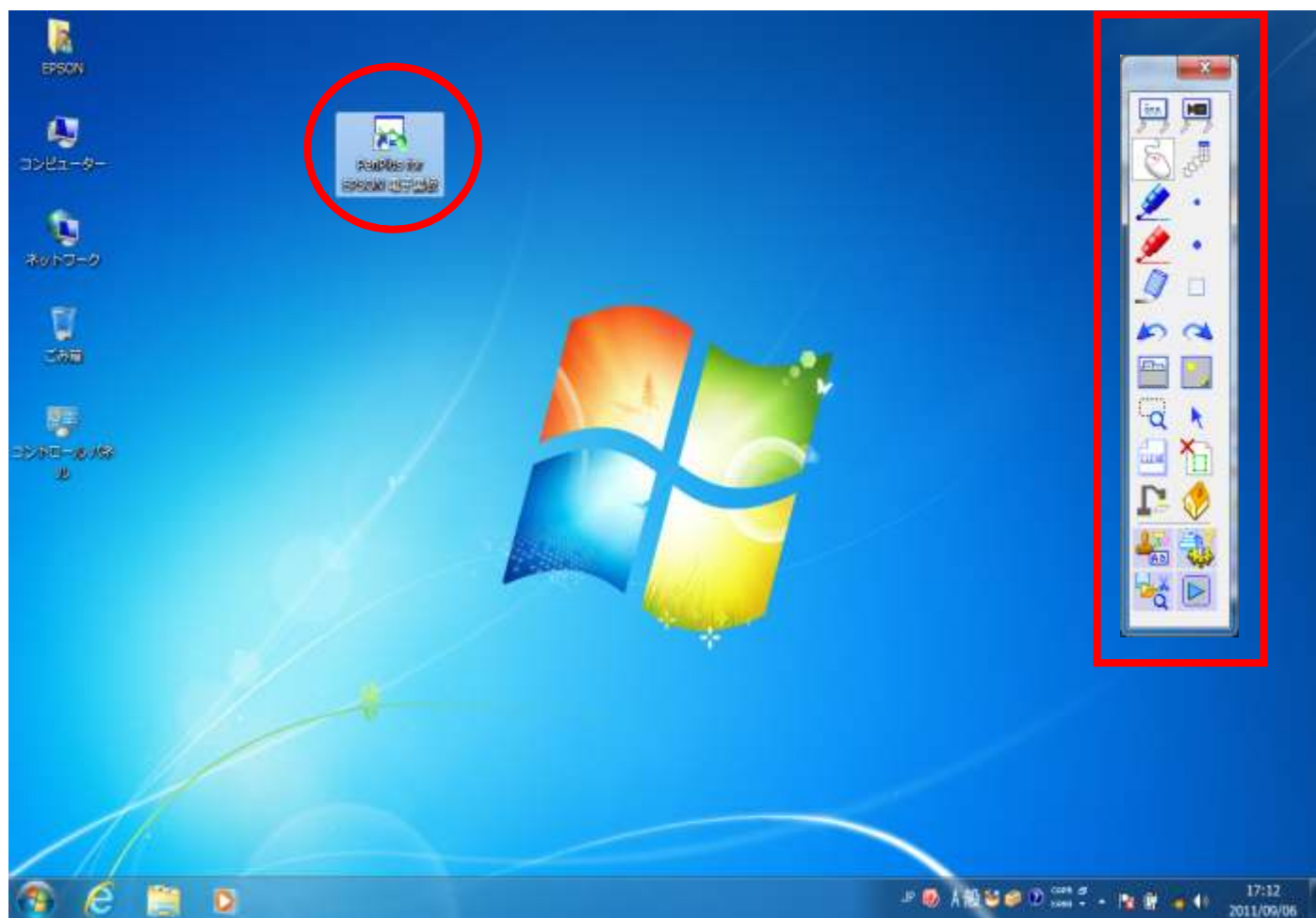


5 - 1 「PenPlus」の起動

☆ : 電子黒板を利用するために、専用のソフトウェア
「PenPlus for EPSON 電子黒板」を起動します。

手順① : 「スタートメニュー」→「すべてのプログラム」→「PenPlus」→
「PenPlus for EPSON 電子黒板」

手順② : デスクトップの「PenPlus for EPSON 電子黒板」をダブルクリック



確認 : 「PenPlus for EPSON 電子黒板」が起動すると画面右側に
「ツールバーメニュー」が表示されます。

5 - 2 「透明シート」と「ホワイトボード」について

☆：「電子黒板」には大きく分けて2つの使用方法があります。
用途により、「ツールバーメニュー」で切り替えて使用します。

①「透明シート」

コンピューターの画面上に広げた、教育ソフト・資料・パワーポイント等に文字や図形を書き込みながら授業をする時に使用するモードです。コンピューター本体も「電子ペン」を使って操作することもできます。「電子黒板ソフトウェア」を起動した時の初期設定のモードです。

②「ホワイトボード」

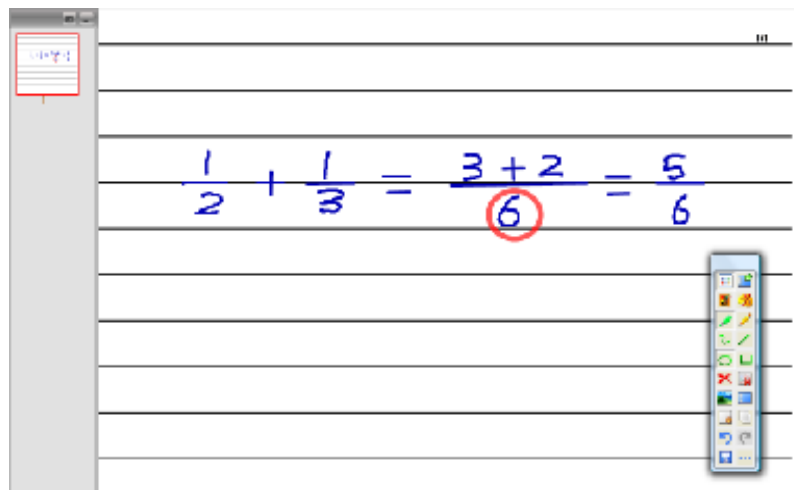
黒板感覚で授業をする時に使用するモードです。背景を変えたり、イラストや記号を貼りつける事が可能です。（原稿用紙・罫線・5線譜・地図など）

「透明シート」



例) コンピューター画面上に「タマネギのりん葉細胞」の写真資料を開き「核」を指し示す。

「ホワイトボード」



例) 「ホワイトボード」の背景を「罫線」に切替えて「分数の計算」を「電子ペン」をチョークとして書き示す。

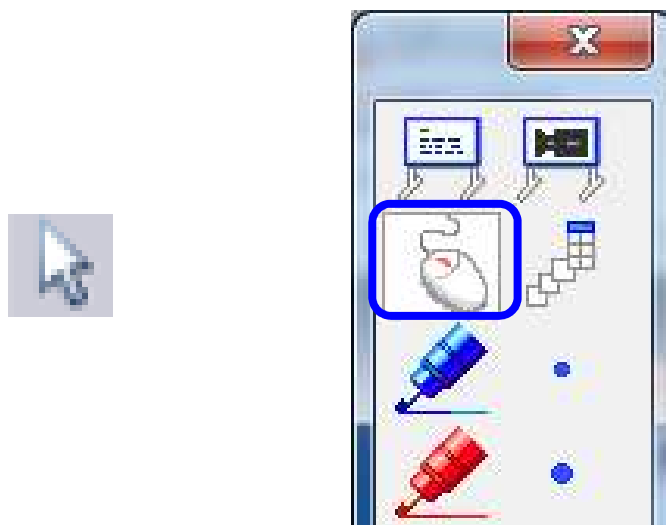
5 - 3 「マウスモード」と「チョークモード」について

☆：「電子ペン」には大きく分けて2つのモードがあります。
用途により、「ツールバーメニュー」で切り替えて使用します。

①「マウスモード」

「電子ペン」を「マウス」として機能させるモードです。

「コンピューターの各種操作」、「ファイルを開く」、「ソフトの起動」等が
できます。

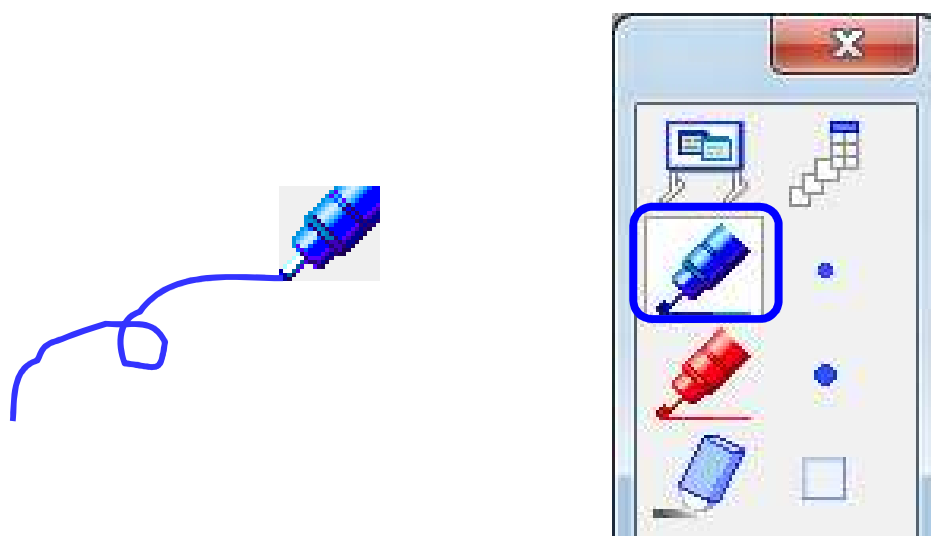


②「チョークモード」

「電子ペン」で文字を書いたり、図形を描画するためのモードです。

投写画面のどこへでも文字・直線・曲線・四角・円・楕円を様々な色や太さで
描画することができます。

チョークモードで記載された文字は必要に応じて必要な部分を自在に消去
することができます。



5 - 4 「ツールバーメニュー」について

☆ : 「電子黒板」には文字や図形を描画するのはもちろん、授業を効果的に円滑に進める上で便利な機能がたくさんあります。

「ツールバーメニュー」はそれらの機能を選択、あるいは「電子黒板」や「電子ペン」に色々な機能を役付けるためのメニューです。

◇ : 「透明シート」と「ホワイトボード」、「動画書き込みシート」では「ツールバーメニュー」の構成が若干異なります。

「透明シート」
メニュー



「ホワイトボード」
メニュー



「プレゼンテーション」
メニュー



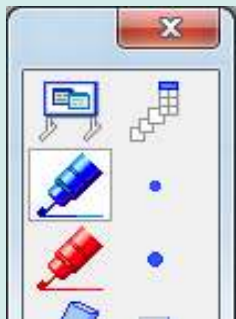
5 - 5 「透明シート」ツールバー①

◇ : 「透明シート」のツールバーメニューの各機能を紹介します。

「透明シート」メニュー①

ホワイトボード

<ホワイトボード>へ切り替えることができます。



最小化

ペンプラス ツールバーをタスクバーに最小化します。

ペン・マーカー

よく使うペンは色、種類を自由に選んでツールボックスに並べることができます。



消しゴム

ペン・マーカーで書いたところを消すことができます。



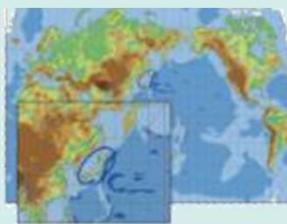
元に戻す・やり直す

操作を元に戻したり、やり直したりすることができます。



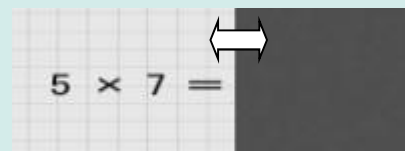
部分拡大

対象箇所周辺を拡大します。



カーテン

画面の一部を隠す機能です。



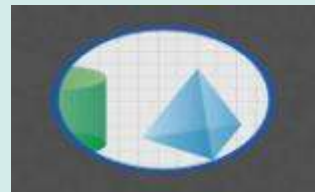
クリア

全クリアか、選んでクリアすることができます。



スポットライト

対象箇所以外を暗くします。



書画カメラ

書画カメラの画像を表示することができます。



書き順

ペンで書いた文字などを記述した順番で再生することができます。



5-6 「透明シート」ツールバー②

◇ : 「透明シート」のツールバーメニューの各機能を紹介します。

「透明シート」メニュー②

図形描画
基本図形はツールボックスに並んでいますので、選択してすぐに描画できます。

スタンプ
テンプレートの上にイラストや記号を貼り付けられます。

図形設定・テキスト
図形描画で表示する図形を設定することができます。
テキストを貼り付けられます。

動画書き込みシート
<動画書き込みシート>へ切り替えることができます。

部分拡大
対象箇所周辺を拡大します。

キャプチャー保存
今の画面をそのまま画像データとして保存します。
保存形式 : BMP, Jpeg, PNG

ファイルの読み込みと保存
保存した画像を読み込んだり、今の画面をそのまま画像データとして保存します。
保存形式 : BMP, Jpeg, PNG

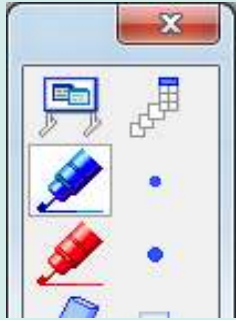
5-7 「ホワイトボード」ツールバー①

◇：「ホワイトボード」のツールバーメニューの各機能を紹介します。

「ホワイトボード」メニュー①

ホワイトボード

<ホワイトボード>へ切り替えることができます。



元に戻す・やり直す

操作を元に戻したり、やり直したりすることができます。

移動・選択

全体を移動したり、アイテムを選択することができます。

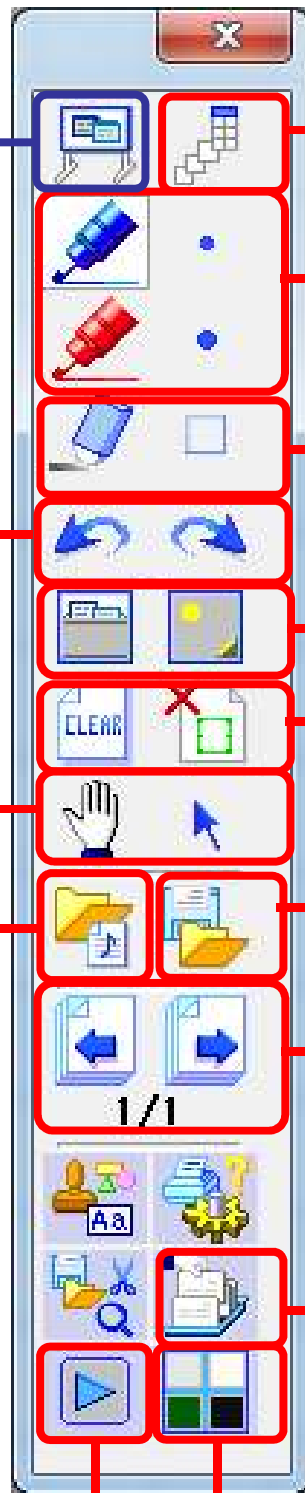
背景イメージの読み込み

原稿用紙や五線譜、地図などを背景として読み込むことができます。



書き順

ペンで書いた文字などを記述した順番で再生することができます。



最小化

ペンプラス ツールバーをタスクバーに最小化します。

ペン・マーカー

よく使うペンは色、種類を自由に選んでツールボックスに並べることができます。

消しゴム

ペン・マーカーで書いたところを消すことができます。

カーテン・スポットライト

画面の一部を隠したり、対象箇所以外を暗くすることができます。

クリア

全てクリア、選択してクリアすることができます。

ファイルの読み込みと保存

ホワイトボードのデータを読み込んだり、保存することができます。

ページの送り・戻し

ページを追加することができます。

ページの移動・挿入

ページの順番を変更することができます。

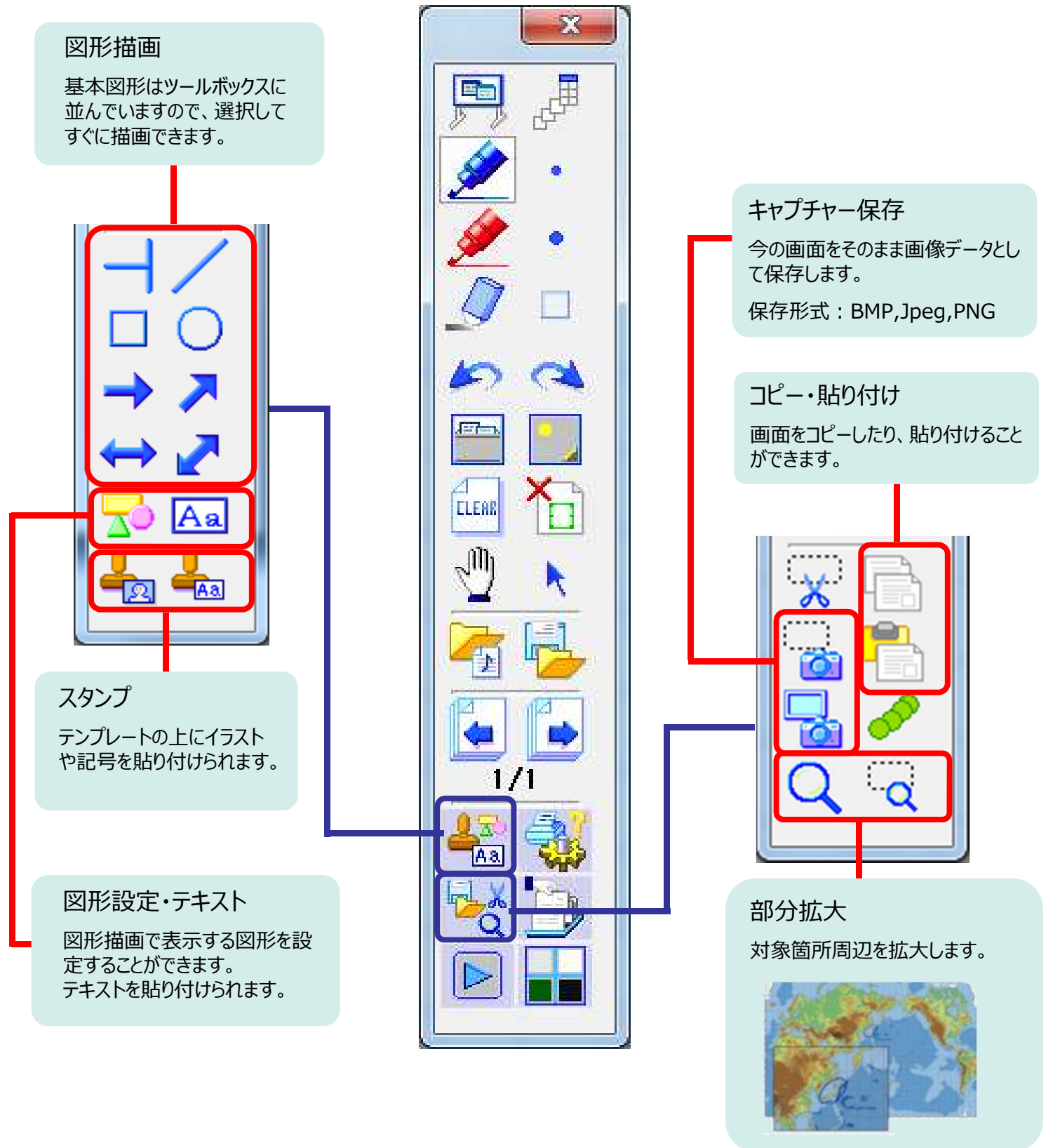
ホワイトボード背景色の変更

ホワイトボードの背景色を変更することができます。

5 - 8 「ホワイトボード」ツールバー②

◇ : 「ホワイトボード」のツールバーメニューの各機能を紹介します。

「ホワイトボード」メニュー②



The diagram illustrates the Whiteboard toolbar menu, divided into two main sections. The left section contains drawing and editing tools, while the right section contains capture and navigation tools. Red boxes highlight specific tool groups, and blue boxes highlight others. Callout boxes provide detailed descriptions for each highlighted group.

図形描画
基本図形はツールボックスに並んでいますので、選択してすぐに描画できます。

スタンプ
テンプレートの上にイラストや記号を貼り付けられます。

図形設定・テキスト
図形描画で表示する図形を設定することができます。
テキストを貼り付けられます。

キャプチャー保存
今の画面をそのまま画像データとして保存します。
保存形式 : BMP, Jpeg, PNG

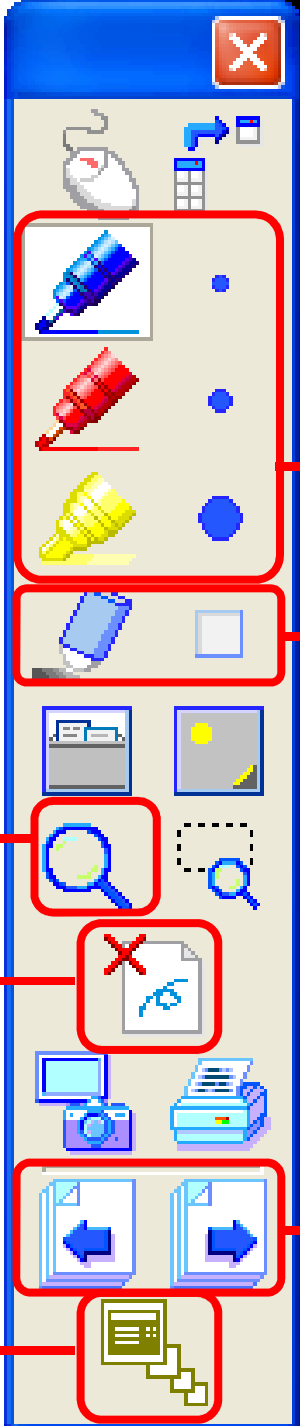
コピー・貼り付け
画面をコピーしたり、貼り付けることができます。

部分拡大
対象箇所周辺を拡大します。

5 - 9 「プレゼンテーションシート」ツールバー

◇ : 「プレゼンテーションシート」のツールバーメニューの各機能を紹介します。

「プレゼンテーションシート」メニュー



The image shows a vertical toolbar for a presentation software. The toolbar contains several icons for drawing, navigation, and editing. Red boxes highlight specific groups of icons, and red lines connect these boxes to callout text boxes on the left and right. The callouts describe the functions of the highlighted icons.

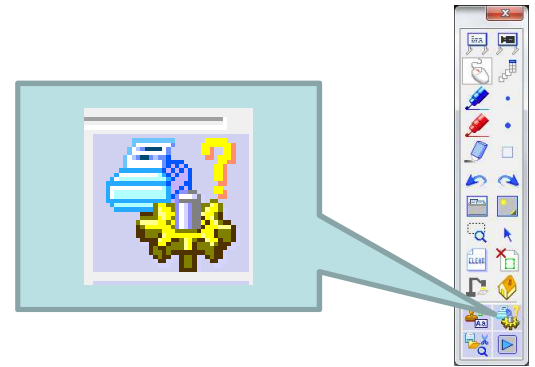
- ペン・マーカー**
よく使うペンは色、種類を自由に選んでツールボックスに並べることができます。
- 消しゴム**
ペン・マーカーで書いたところを消すことができます。
- 自動拡大**
カーソルを合わせた位置が自動的に拡大されます
- クリア**
全てクリア、選択してクリアすることができます。
- ページ送り／ページ戻し**
スライドショーのページを送ったり戻したりできます。
- スライドショーの終了**
スライドショーを終了します。

5-10 ツールバーへの機能追加 例えば「図形ペン」を追加する方法

標準のツールバーに設定されていない機能を追加する方法です

例えば、図形ペンを追加する場合

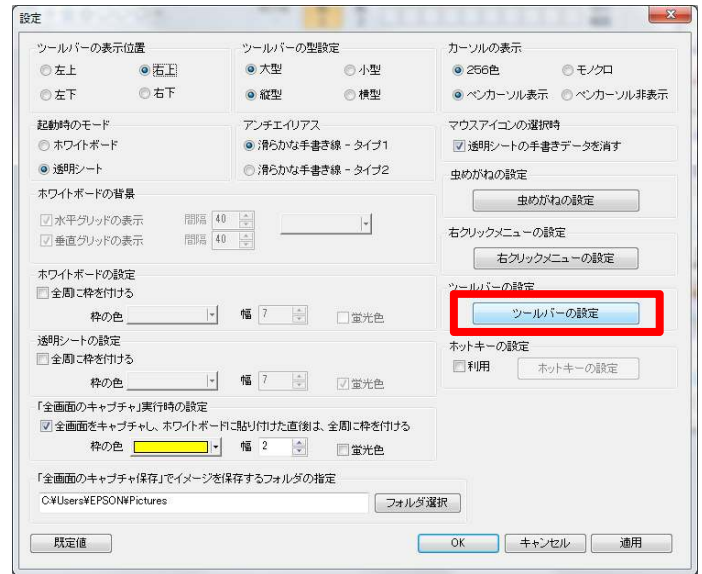
1. PenPlusを起動し、「印刷、設定」ボタンをクリックします。
(教材作成モードでも設定できます)



2. 「印刷、設定」用ボタンが表示されるので「設定」ボタンをクリックします。



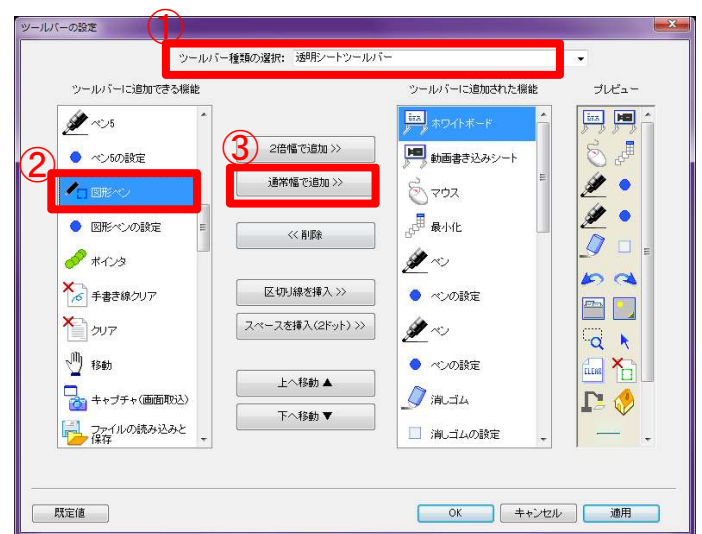
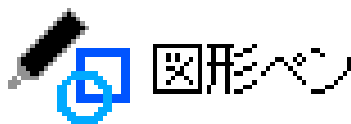
3. 「設定」ウインドウが表示されるので、「ツールバーの設定」をクリックします。



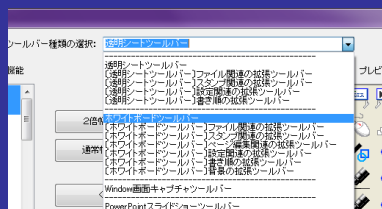
4. 「ツールバーの設定」ウインドウが表示されます。

- ①【ツールバー種類の選択：透明シートツールバー】
- ②【ツールバーに追加できる機能：図形ペン】

を選択し、③「通常幅で追加」をクリックします。

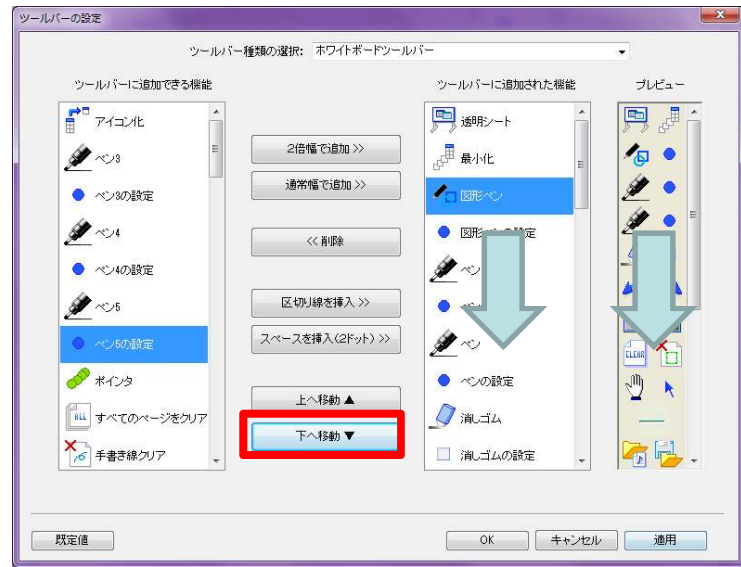


ツールバーの種類毎に設定が必要です。「ツールバーの種類」から設定したいツールバーを選択して、それぞれに同じ設定を行ってください。

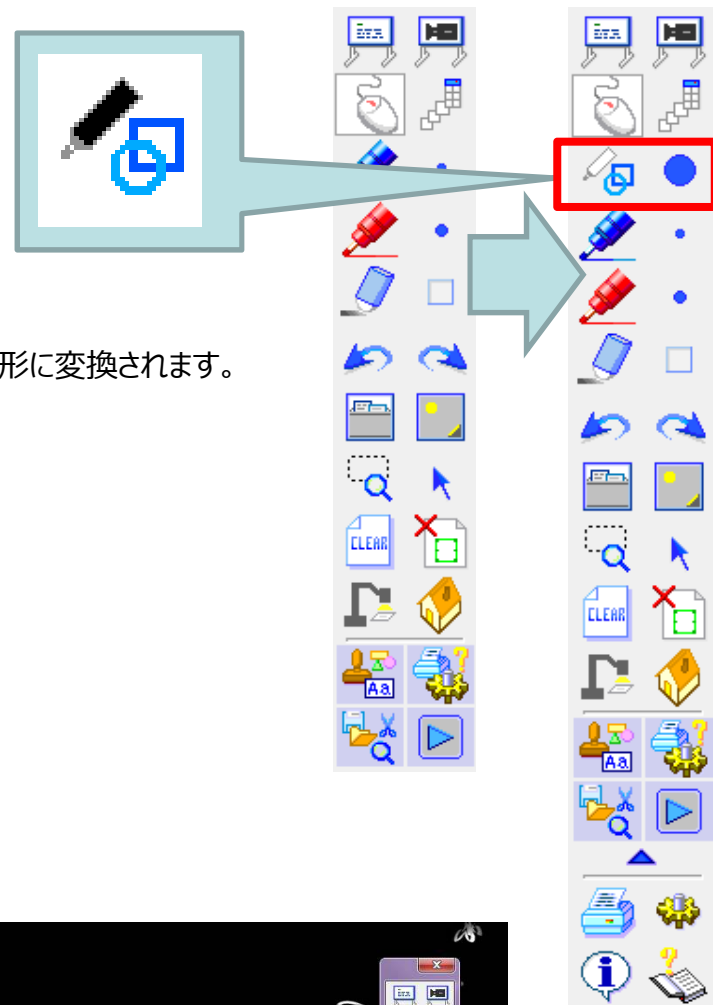


5-10 ツールバーへの機能追加 例えば「図形ペン」を追加する方法

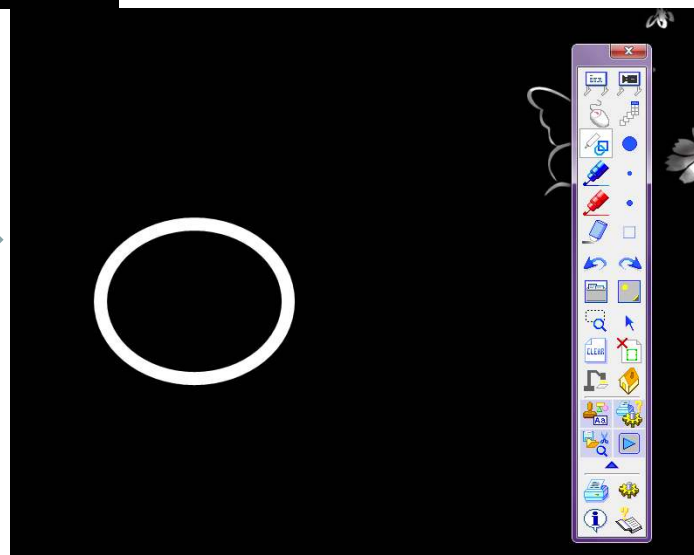
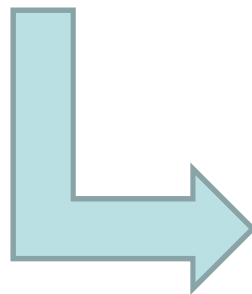
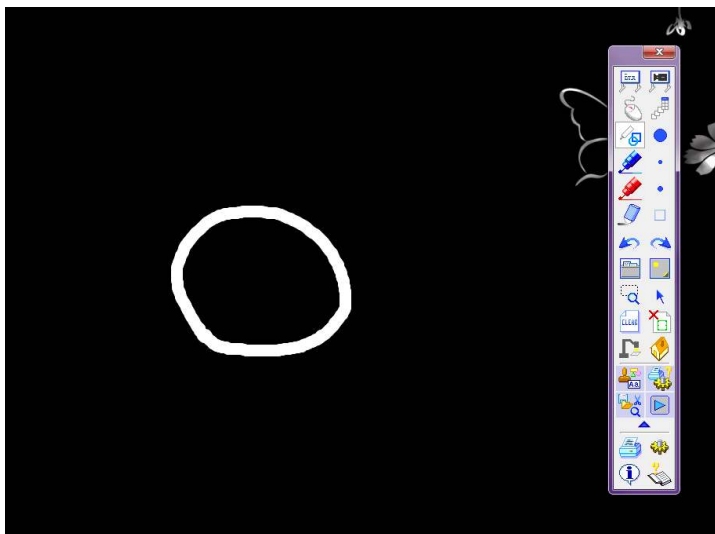
5.「図形ペン」が【ツールバーに追加された機能】に表示されます。
「上へ移動」「下へ移動」ボタンを押して、好きな位置に移動します。



6. PenPlusツールバーに「図形ペン」が追加されました。



「図形ペン」を選択して手書きで○や□、△を描くと、きれいな図形に変換されます。



5 - 1 1 「PenPlus」専用マニュアルについて

「PenPlus」専用マニュアルは以下の手順でご覧いただくことができます。
必要に応じ、ご活用ください。

①「印刷・設定」ここをクリック



②赤丸のヘルプをクリックすると
PDF版のマニュアルが立ち上がります。



補足資料

補足1 ピント合わせ

ピント合わせ

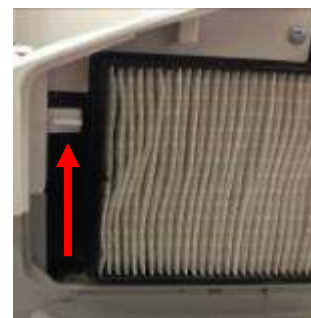
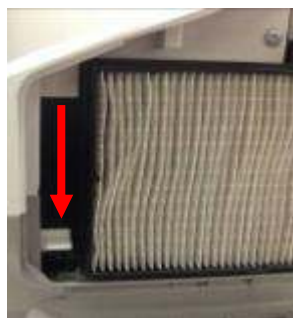
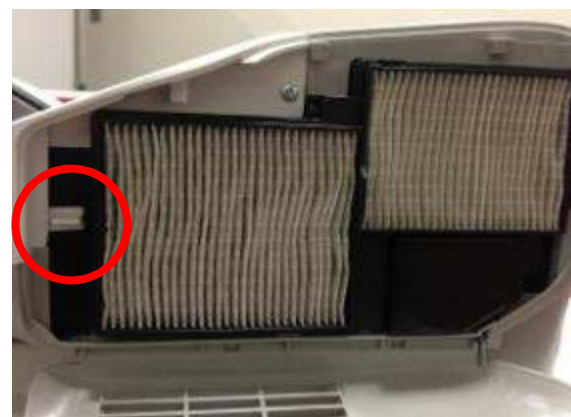
1.側面排気口部分にあるレバーを下図のようにスライドし、カバーを開きます。



2.開くと、フィルターの左端につまみがあります。つまみを上下に動かして、ピントの調整ができます。

投写画面を見ながら、文字がはっきり見える位置にあわせてください。

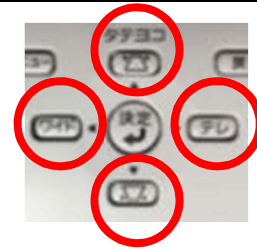
完了後、カバーを閉めます。



補足2 本体調整 (映像調整: 台形補正・画面サイズ調整・位置調整)


タテヨコ台形補正

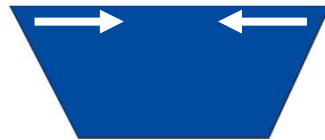
1. 本体の「タテヨコ」ボタンを押して台形補正が可能です。




2. 投写画面を見ながらボタンを押して調整します。




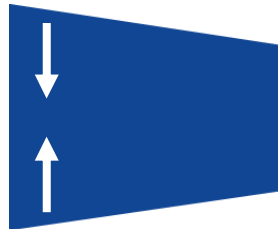
投写画面の上部が広がっている時は、を押します。



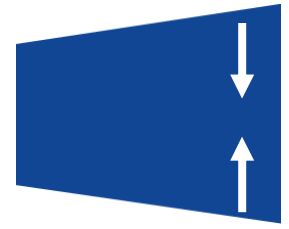
投写画面の下部が広がっている時は、を押します。



投写画面の左部が広がっている時は、を押します。

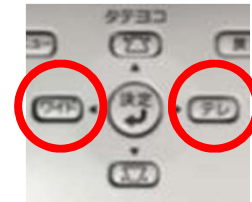


投写画面の右部が広がっている時は、を押します。



画面サイズの調整

1. 本体の「ワイド」「テレ」ボタンを押して画面サイズの調整が可能です。



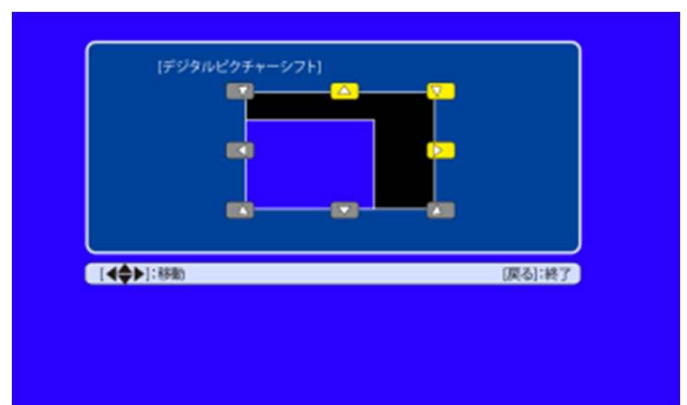
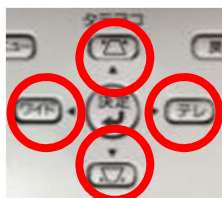
ワイドボタン・・・押し続けると投写画面が大きくなります。
テレボタン・・・押し続けると投写画面が小さくなります。

投写位置の調整

1. 台形補正やワイド／テレ調整を行った後表示される「デジタルピクチャーシフト」を利用すれば、投写画面の微調整を行えます。

リモコンや本体の上下左右▲ボタンを押し、投写画面を上下左右に移動できます。

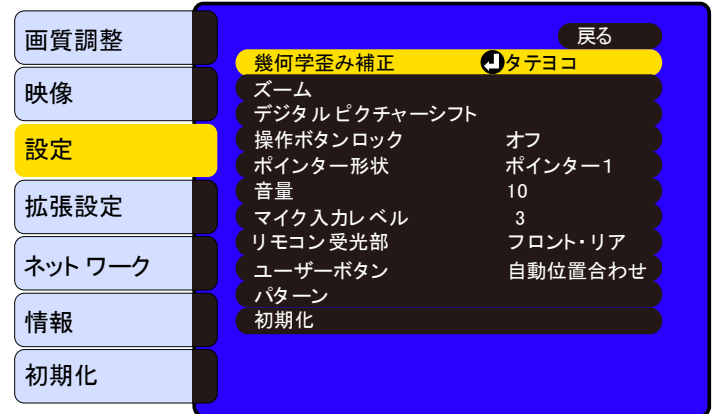
黄色いボタンの方向に移動することができますので、投写画面を見ながらボタン操作で調整してください。



補足3 本体調整（映像調整：湾曲補正）

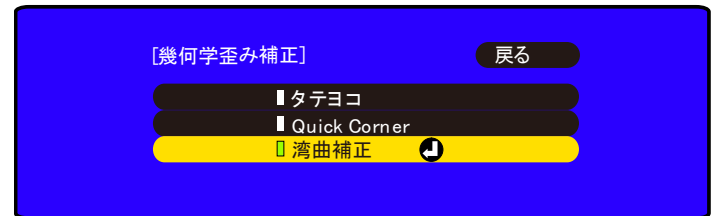
湾曲補正

1. リモコンのメニューボタンより、「設定」-「幾何学歪み補正」を選択します。



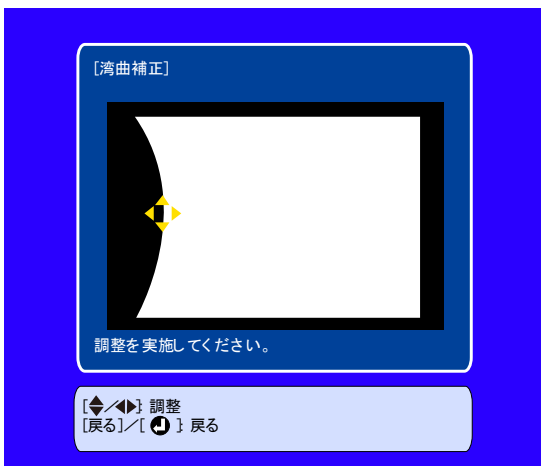
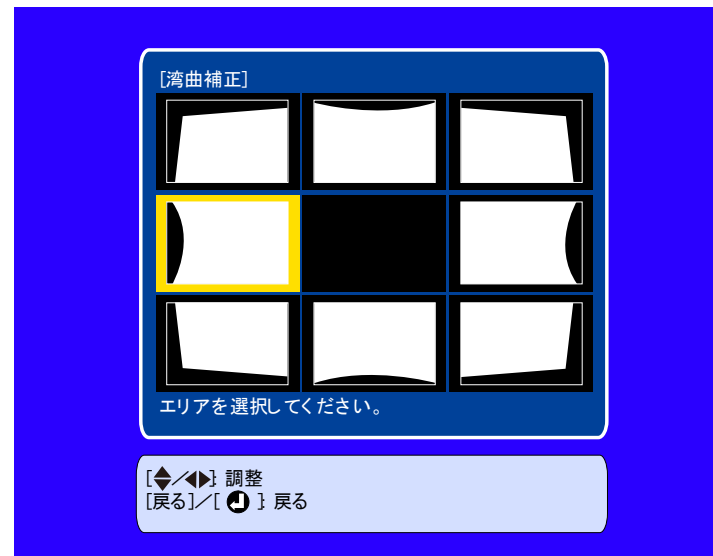
[戻る] 戻る [◆] 選択 [決定] 決定 [メニュー] 終了

2. 「湾曲補正」を選択します。



[戻る] 戻る [◆] 選択 [決定] 決定 [メニュー] 終了

2. 「湾曲補正」画面が表示されますので、補正したい箇所を選択し、リモコンの◀▶▲▼ボタンで調整します。



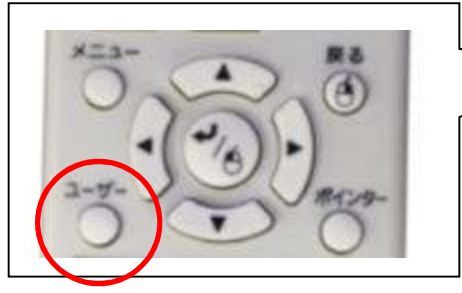
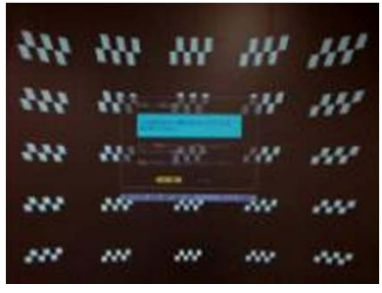
補足4 自動ペン位置合わせ

自動ペン位置合わせ (オートキャリブレーション)

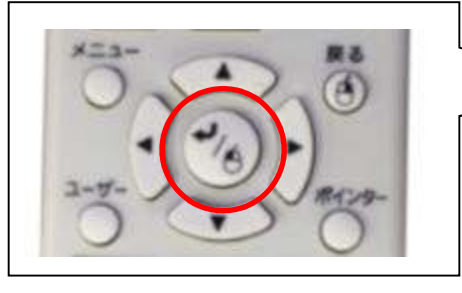
ペン位置が正しく認識されていない場合、この機能により、ペン位置を正しく認識させてください。


1. プロジェクターが起動している状態で、リモコンの「ユーザー」ボタンを押します。

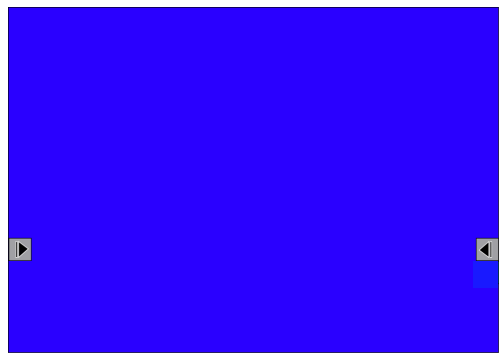
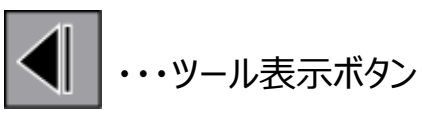
「自動ペン位置合わせ」画面に切り替わります。



2. 画面の指示に従って、真ん中の「決定」ボタンを押します。



3. 数秒待つとキャリブレーションが完了し、元の画面に戻ります。
PCLレスモードの場合は、マークが画面両端に表示されます。



以上でペン位置合わせ作業は完了です。

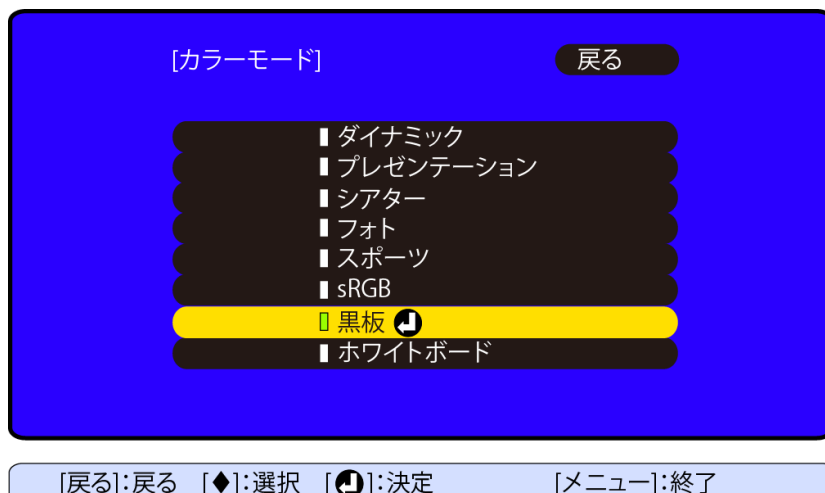
補足 5 黒板モードでの利用方法

黒板モードで使用する場合は、設定を以下のとおり変更してください。

1. リモコンのメニューボタンを押し、「画質調整」→「カラーモード」の順に【決定】ボタンで選択します。



2. リモコンの上下 (▲) ボタンで「黒板」を選択し、【決定】ボタンを押します。



モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードで、暗部の階調表現に優れています。
プレゼンテーション	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	暗い部屋で映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。
フォト※1	明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ※2	明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB	sRGBに準拠した映像になります。
黒板	黒板（緑色）に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。
ホワイトボード	ホワイトボードを使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。

補足6 エアフィルターの清掃

エアフィルターの掃除

以下のメッセージが表示されたらエアフィルターや吸気口の掃除をしてください。

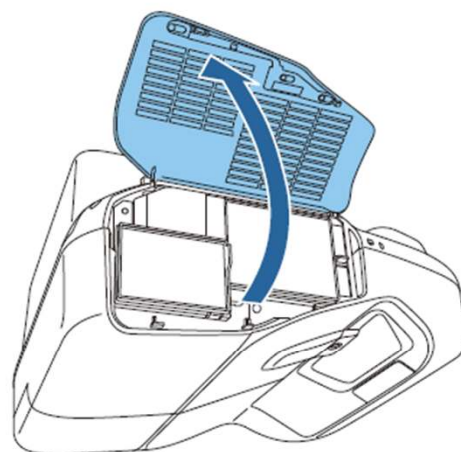
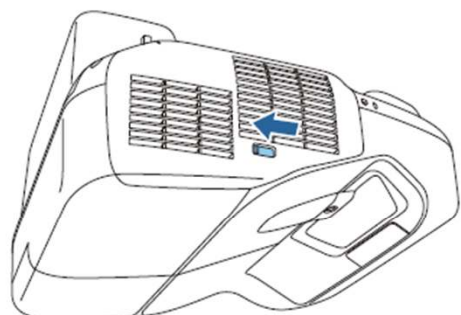
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

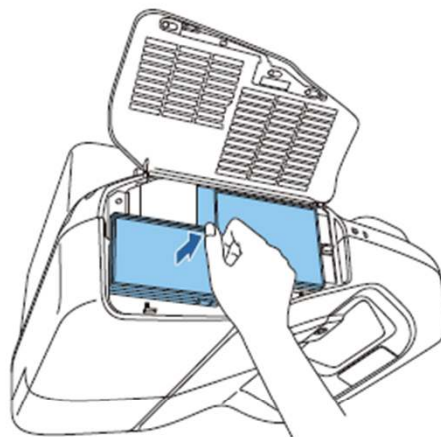
- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 掃除にブラシを使用するときは、毛先の長い柔らかいブラシで軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入ってしまう、取れなくなることがあります。

- 1** 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。

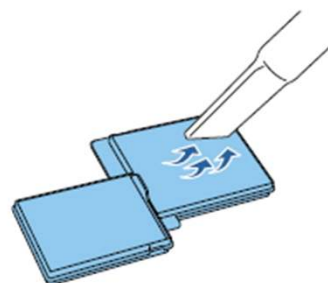
- 2** エアフィルターカバーを開けます。
エアフィルターカバーのツメを押しながらカバーを開けます。



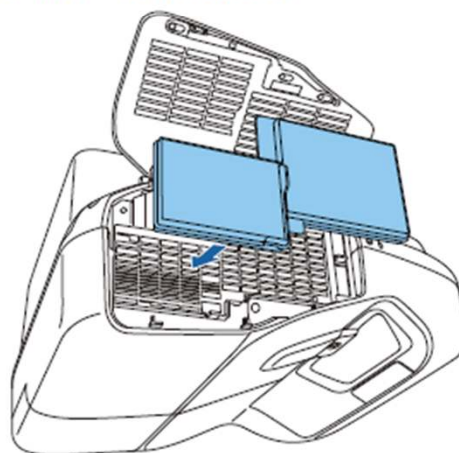
- 3** エアフィルターを取り外します。
エアフィルター中央の突起をつまみ、まっすぐに取り出します。



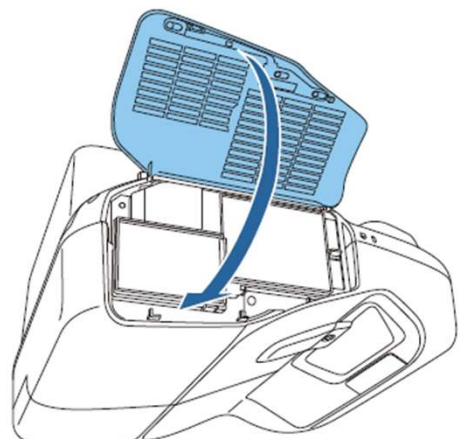
- 4** エアフィルターにたまったホコリを表側から掃除機で吸い取ります。



- 5** エアフィルターを取り付けます。



- 6** エアフィルターカバーを閉めます。



※3か月に一度は清掃を行うことをお勧めします。
ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で清掃を行ってください。

- ☆ : 電子黒板用ソフトウェア「 Easy Interactive Tools 」Ver3.0について説明をします。

Windows OS／Mac OSで使える電子黒板用ソフトウェアです。



◆起動とツール

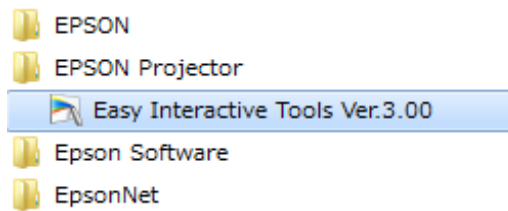
☆ 電子黒板を利用するために専用のソフトウェア
「 Easy Interactive Tools 」を起動します。

起動方法： <Macの場合>

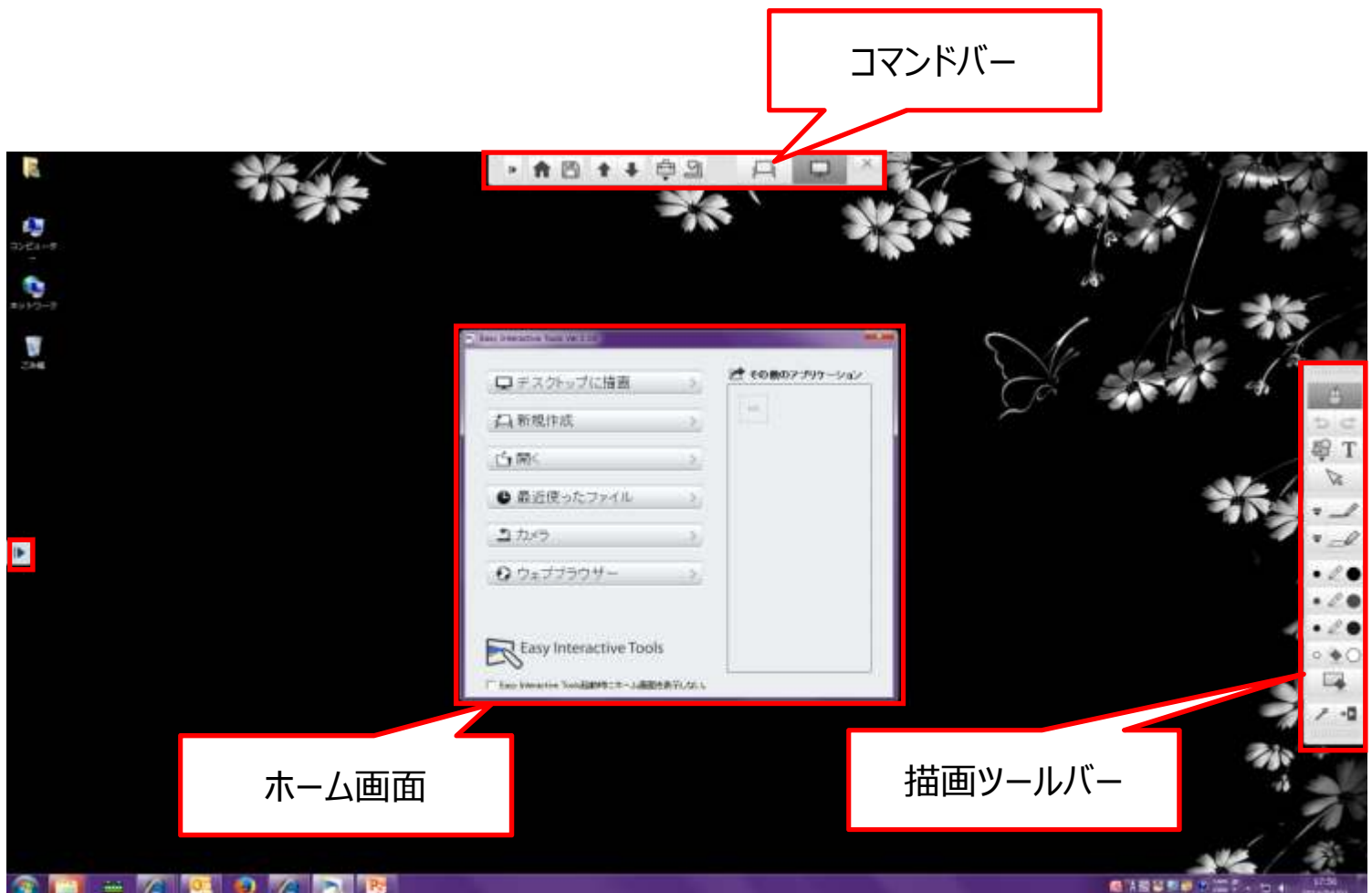
Easy Interactive Tools をインストールしたフォルダで
Easy Interactive Toolsのアイコンをダブルクリックする。

<Windowsの場合>

スタートメニューから、EPSON Projector-Easy Interactive Tools をクリックする。










「 Easy Interactive Tools Ver.3.0」を起動すると、デスクトップに「ホーム画面」「コマンドバー」「描画ツールバー」が表示されます。



◆ コマンドバー

「 Easy Interactive Tools Ver.3.0」を起動すると、デスクトップに「ホーム画面」「コマンドバー」「描画ツールバー」が表示されます。



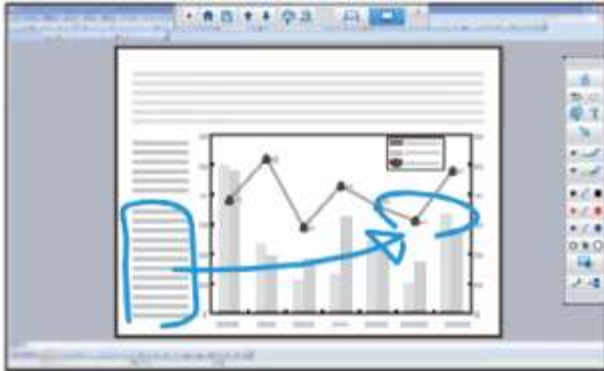
	ホーム画面	ホーム画面を表示します。
	保存	表示中の画面を、JPEG、BMP、PNG、PDF、EITのいずれかの形式で保存します。 ホワイトボードモード時は、すべてのページが保存されます。PDFまたはEIT形式で保存すると、すべてのページを1ファイルにして保存します。 ホワイトボードモードで全体表示をしているときは、【 】を選択後、[上書き保存] または [名前を付けて保存] を選択します。 保存先は、[設定] 画面の [保存設定] タブで変更できます。描画内容を再編集可能な状態で保存するときは、EIT形式で保存してください。
	ページアップ	アノテーションモード時：選択中の文書を上方方向にスクロールします。 ホワイトボードモード時：表示中のページの、1つ前のページを表示します。
	ページダウン	アノテーションモード時：選択中の文書を下方方向にスクロールします。 ホワイトボードモード時：表示中のページの、1つ後ろのページを表示します。
	その他のツール	ツールパネルを表示します。
	カメラ	コンピューターに接続されている書画カメラからの映像を表示します。 ※エプソン製の書画カメラに対応しています。対応書画カメラについては、お使いのプロジェクトターの取扱説明書に記載されているお問い合わせ先にご確認ください。
	ホワイトボードモード	ホワイトボードモードに移行します。
	アノテーションモード	アノテーションモードに移行します。

◆ コマンドバー

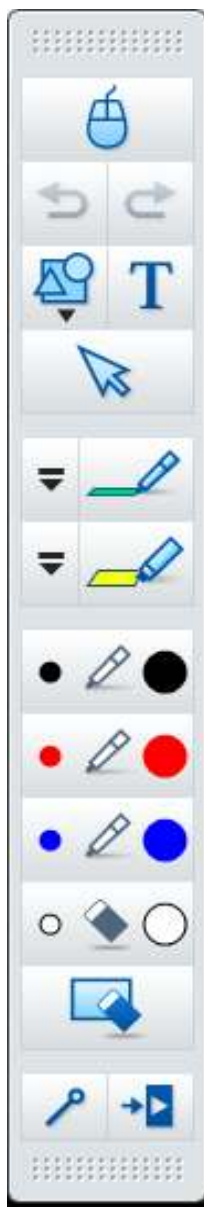
☆「電子黒板」には大きく分けて2つの使用方法があります。
用途に合わせて「ツールバーメニュー」で切り替えて使用します。

①「アノテーションモード」

コンピューターの画面上に広げた、教育ソフト・資料・パワーポイント等に文字や図形を書き込みながら授業をする時に使用するモードです。コンピューター本体も「電子ペン」を使って操作することもできます。「電子黒板ソフトウェア」を起動した時の初期設定のモードです。

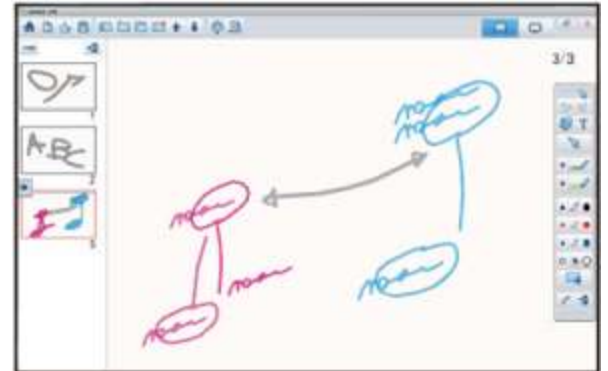


「アノテーションモード」



②「ホワイトボード」

ホワイトボードのような無地の背景を投写して、自由に文字や絵を描けます。無地以外に、方眼紙や五線譜などの背景を選べます。

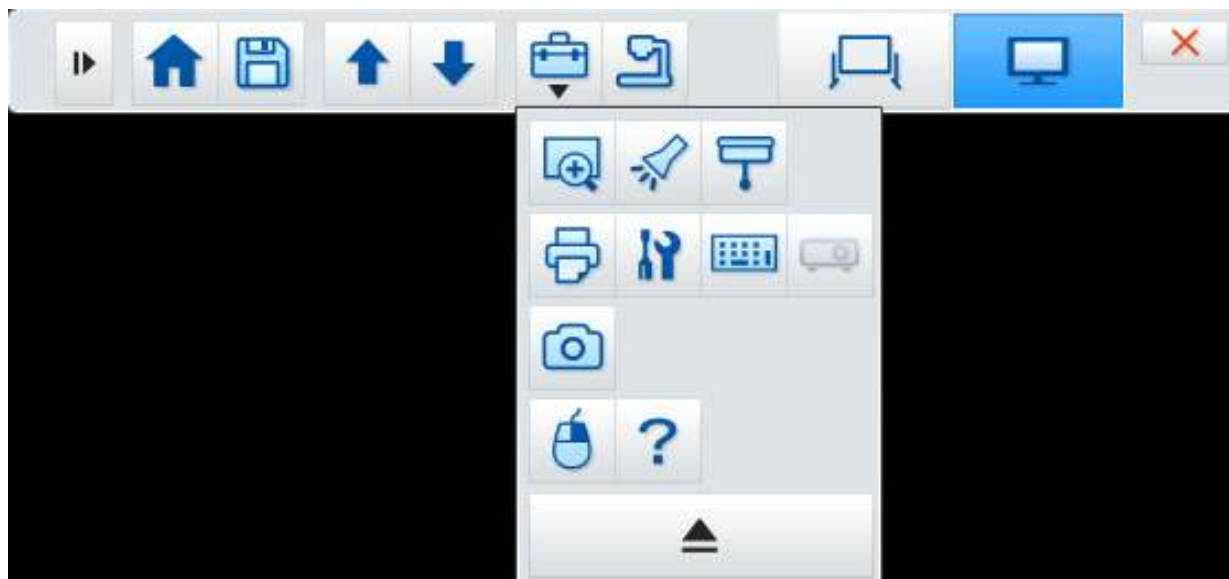











「ホワイトボードモード」



◆ コマンドバー／ツールパネル（アノテーションモード時）

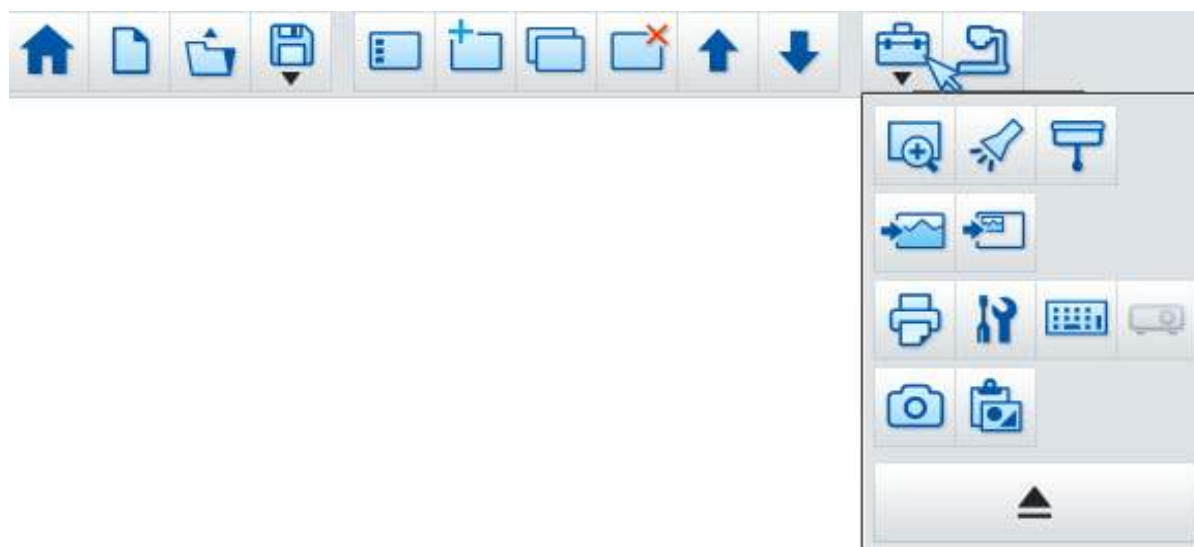
「コマンドバー」の「ツールパネル」詳細は以下のとおりです。
 ※アノテーションモード時とホワイトボードモード時ではパネルが違います。



	領域拡大	十字カーソルをドラッグして選択した範囲の映像が拡大されます。
	印刷	表示中の画面を印刷します。ホワイトボードモード時は、すべてのページを印刷するか対象のページを印刷するか選択できます。
	キャプチャー	表示中の画面をキャプチャーし、クリップボードにコピーします。
	右クリック	ペンでのクリックが 1 回だけで右クリックとして機能します。その後は通常のクリックに戻ります。
	ヘルプ	ヘルプを表示します。
	スポットライト	スポットライトの効果を使って投写画面の内容を強調します。スポットライトの枠をドラッグすると、表示範囲を変更できます。
	設定	設定画面を開きます。
	シエード	投写画面をシエードで覆い隠します。4 辺をドラッグすると、シエード範囲を変更します。
	入力パネル	画面上に仮想キーボードを表示します。仮想キーボードのキーを選択することで、キーボードから文字の入力やコンピュータの制御ができます。

◆ コマンドバー／ツールパネル（ホワイトボードモード時）

「コマンドバー」の「ツールパネル」詳細は以下のとおりです。
 ※アノテーションモード時とホワイトボードモード時ではパネルが違います。



	領域拡大	十字カーソルをドラッグして選択した範囲の映像が拡大されます。
	印刷	表示中の画面を印刷します。ホワイトボードモード時は、すべてのページを印刷するか対象のページを印刷するか選択できます。
	キャプチャー	表示中の画面をキャプチャーし、クリップボードにコピーします。
	右クリック	ペンでのクリックが1回だけで右クリックとして機能します。その後は通常のクリックに戻ります。
	ヘルプ	ヘルプを表示します。
	スポットライト	スポットライトの効果を使って投写画面の内容を強調します。スポットライトの枠をドラッグすると、表示範囲を変更できます。
	設定	設定画面を開きます。
	シールド	投写画面をシールドで覆い隠します。4辺をドラッグすると、シールド範囲を変更します。
	入力パネル	画面上に仮想キーボードを表示します。仮想キーボードのキーを選択することで、キーボードから文字の入力やコンピュータの制御ができます。
	背景選択	あらかじめ用意された9種類の背景パターンからページの背景を選択できます。また、現在のデスクトップ画面の静止画、画像ファイル、書画カメラの映像からも背景を選択できます。
	画像挿入	表示中のページに読み込む画像を選択します。選択できるファイル形式はJPG、BMP、PNGです。
	貼り付け	クリップボードにコピーされたデータを表示中のページに貼り付けます。

◆ アノテーションモードツールバー

◇「アノテーションモード」のツールバーメニューの各機能を紹介します。

■ アノテーションモードのツールバーメニュー

【マウス】
電子ペンをマウスとして使用することができます。

【元に戻す・やり直す】
操作を元に戻したり、やり直したりすることができます。

【図形】
図形の中から、使用したい図形を選べます。
図形の色と線の太さも選べます。

【選択】
描画した内容や挿入した画像を選択して、移動やサイズ調整等の操作ができます。

【ペン・蛍光ペン】
【▽】をクリックすると色と太さを選べます。
(蛍光ペン) は半透明の線を描くことができます。

【ペン (黒、赤、青)】
アイコンの左側をクリックすると細い線、右側をクリックすると太い線が描けます。

【消しゴム】
アイコンの左側をクリックすると細い消しゴム、右側をクリックすると太い消しゴムになります。

【画面クリア】
表示中のページで描写した内容を全て消去する。

【テキスト入力】
テキスト入力に切り替わります。描画領域を選択するとテキストボックスが表示されます。

【】 【】
描画ツールバーを常に表示します。

【】 【】
描画ツールバーを非表示にします。

◆ホワイトボードモードツールバー

◇「ホワイトボードモード」のツールバーメニューの各機能を紹介します。

■ ホワイトボードモードのツールバーメニュー

【元に戻す・やり直す】

操作を元に戻したり、やり直したりすることができます。

【図形】

図形の中から、
たい図形を選べ
図形の色と線の
選べます。



【選択】

描画した内容や挿入した画像を選択して、
移動やサイズ調整等の操作ができます。

【ペン（黒、赤、青）】

アイコンの左側をクリックすると細い線、右
側をクリックすると太い線が描けます。

【消しゴム】


アイコンの左側をクリックすると細い消しゴム、
右側をクリックすると太い消しゴムになります。

【画面クリア】

表示中のページで描写した内容を全て
消去する。

【ペン・蛍光ペン】

【▽】をクリックすると色と太
さを選べます。

 (蛍光ペン) は半
透明の線を描くことができま
す。



【 】

描画ツールバーを常に表示します。



【 】

描画ツールバーを非表示にします。



2014.7.18
エプソン販売株式会社
東洋営業三課 修正